

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 03 月 31 日作成)

委員会名	設備管理指針検討 WG	主 査 名：永峯 章
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備小委員会)	委員長名：銚井修一(石野久彌)
設 置 期 間	2003 年 04 月 ~ 2005 年 03 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	設備管理規準については、前年度までの設備経営指針検討 WG として行ってきた活動(建物管理指針検討 WG と合同委員会の形で実施)の管理規準をアカデミック・スタンダードとしてとりまとめことが目的である。	
委員構成 (委員名(所属))	主査 永峯 章(東洋大学) 幹事 前川甲陽(日本環境管理学会) 委員 我孫子義彦(株)ジェス 石福 昭(建築設備総合協会) 鎌田元康(東京大学) 小松正佳(株)NTT 建築総合研究所 田中毅弘(関東学院大学) 中島康孝(早稲田大学) 関口正男(前橋工科大学) 八木澤雅幸 三機工業(株)	
設置 WG (WG 名：目的)	設備管理指針検討 WG	
2004 年度予算	80,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	設備管理指針検討 WG2003 年度 5 / 9 , 7 / 11 , 9 / 25 , 10 / 30 , 12 / 5 , 2004 年度 4 / 26 , 5 / 31 , 6 / 8 , 8 / 2 , 11 / 24 , 1 / 21 , 2 / 24 (合同委員会のため常時 10 名程度) アカデミックスタンダード WG 5 / 6 , 7 / 4 , 9 / 26 , 2 / 24 , 4 / 19 , 2 / 24
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2002 年度研究協議会で設備管理規準案を公表し、広く国民に理解してもらえるように建物管理ガイドラインの中で明らかにしてきた。2004 年度においては建物管理規準案および清掃管理規準案を建物管理指針検討 WG との合同委員会で作成した。アカデミック・スタンダードとして設備管理規準案は内部査読を年度末終了し、規準案としてまとめた。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) アカデミック・スタンダードを作る学会全体の動きにあわせて、設備管理指針検討 WG においても環境工学委員会のもとでアカデミック・スタンダードにつながるように検討し、内部査読とその成果(設備管理規準案)をとりまとめた。当初予定した、パブリック・コメントまで進めることはできなかった。
その他評価すべき事項	建築管理規準案も合同委員会の成果として完成することができた。